



## 「KYT・ヒューマンエラー防止週間」にあたって

平成24年11月  
那覇産業保安監督事務所  
所長 仲嶺英世

鉱山で働く皆様、毎日のお仕事ご苦労様です。

少しずつ日が暮れる時間が早くなり、何かと体調管理が必要な時期になりました。各鉱山では災害や事故の未然防止に日々努力していることと存じます。今後も引き続き、災害根絶へ向け努力し、災害ゼロを達成しましょう。

さて、沖縄鉱山保安対策委員会では、12月1日から7日を「KYT・ヒューマンエラー防止週間」として保安運動を展開し、年末の忙しい時期における災害を防止することになりました。

全国の鉱山において発生した災害の原因では、不安全行動（作業者の省略行為、規則等の不遵守等）によるものが多くを占めており、災害根絶には、人的な不安全要素を取り除くことが必要です。

鉱山の皆様におかれましては、十分にこの保安運動の主旨を理解されて、それぞれの職場において作業ごとのKYT（危険予知トレーニング）・指差し呼称、安全教育、毎日のミーティングにおける注意喚起等を行い危険への注意力を高め「ゼロ災害」を目標に事故のない安全な職場を築きましょう。

- ★ KYTをしていますか？
- ★ ゆびさ指差し呼称をしていますか？
- ★ 「ヒヤリ」「ハット」を報告していますか？
- ★ 作業手順を遵守していますか？
- ★ 単独作業者の安全を確認していますか？
- ★ 不安全行為をしていませんか？
- ★ 不安全箇所はありませんか？

<平成24年度 鉱山保安標語入選作品より>

『一人作業 するな させるな 事故の元』

仲田 りつ子（北部碎石鉱山）